

シアトル別院時報

31巻12月号

2012 年度教化標語
世の中安穩なれ



なぜ仏典を読むか

新井俊一師

月に一度とは言え、貴重な時間を割いて週日の午後にこの「仏典講読の会」に来てくださるのですから、皆様は何らかの目的意識を持っておられることと思います。しかし「仏典を読む」という立場から言うと、正しい目的意識とそうでない目的意識があります。正しい目的意識とは、文字通り、釈尊や親鸞聖人のお心に触れよう、仏の声を聞こう、ということです。誤った目的意識とは、仏典を読んで何らかの知識を得よう、仏教を知ることによってご先祖様の供養をしよう、仏典を読むことによってよい人になろう、などというように、仏教を自分の目的の手段にしようという考え方です。

長い間このような法座に参加していても、自分の人生で得た知識の中で仏典を理解しようとして、いつまでたっても自分の枠から出てこられない人がいます。そういう人は、すでに水でいっぱいになっているコップに水を注ごうとするのと同じで、仏典をいくら読んでも心に届きません。ただ「難しい」「分からない」と言うだけにとどまっています。

仏典を読む時にもっとも大切な心構えは、仏典にある仏様の言葉は自分よりもずっと深くて広い心から出てきたものだから、できるだけ自分の今までの価値観や先入観をさしおいて、仏の声をそのまま聞こうとすることです。

仏典は仏のお心を私たち人間の言葉で表現しようとしていますから、聞き慣れない言葉がよく現れます。たとえば「無量劫」というような想像を絶した時間や、「十万億仏土」というようなとんでもない距離が語られます。私たちにとっては荒唐無稽に聞こえる言葉ですが、仏の側からすると、私たちの迷いの世界と仏の悟りの世界との距離は、そのような表現でしか言い表せない、ということです。

仏典から学ぶ目的は、大きく言って三つあります。一つ



12月の予定

- 2日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
11時45分 ポットラック
 - 9日 10時 家族・子供法要
日本語プログラムなし
11時 大掃除
 - 16日 10時 家族法要
日本語プログラムなし
11時 別院総会
 - 23日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
 - 24日 事務所休み
 - 25日 事務所休み
 - 30日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
 - 31日 事務所休み
7時半 除夜法要
- ***
- 3日 10時半 敬老ホーム法要
 - 6日 1時半 日系マナー法要
 - 20日 1時半 日系マナー法要

目は、私たちが救いようのないほど迷いの中でうごめいている、ということです。二つ目は、仏とは上記の迷いの世界を離れて本当の自由を獲得した人だ、ということです。三つ目は、仏は迷いの世界で苦しむ私たちを捨てておけず、私たちに救いの手をさしのべてくださっている、ということです。その救いの手を浄土真宗では「本願」と呼んでいます。迷いの世界で苦しむ人々を最後の一人まで救いたい、もしそれができなければ、自分だけ仏の世界に行くことはない、というお心とお働きを「本願」というのです。(続く)

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士(ハワイ大学)、浄土真宗本願寺派教師。

オライオン・ハウス食事奉仕

シアトル市のホームレス青年たちのために、個人またはグループにて計画をたて、食事を用意するオライオン・ハウス・センター・プロジェクトは毎月第3金曜日に行われます。別院の各団体や家族が過去3年に亘り奉仕しており感謝されております。来年の予定を募っております。これは私たちにとっても価値あるプロジェクトです。皆さんの支援を願っている。10月の食事は寺本マーガレット、11月は佐久間ポーリンのリーダーでした。感謝しています。詳細は寺本マイクか別院事務所まで知らせてください。ことしもクーポン・ブックの販売の基金募集をしました、75冊売れました、ありがとうございました。これは1000ドルになり食事の材料費に当てられます。

お仏壇

別院に寄付されその後長い間、隣の家にしまれていた大小の8台のお仏壇がこの度新しい家族に引き取られました。

9月のダーマ・スクールの始まりにカストロ先生がお仏壇を選び、メモリアル・ホールに飾られ、ダーマ・スクール父兄にその存在のいわれやいかに各家庭でお参りをするかを指導されました。家族は何週間かにおいてよく調べた上で選びました、その間カストロ先生は寄付された色々な仏具を集められお仏壇一式を完成されました。ついに11月に家族が喜びと感謝をこめてお仏壇を各家庭に持ち帰りました。

まだまだいくつものお仏壇がお寺にあります、浄土真宗の家庭でご希望の方は別院事務所まで連絡願います。 後藤アイリーン



パーテル・ドラッグにてのスクリップ・プログラム (Scrip Program) にサイン・アップされますとお寺にその月に購買された中より寄付されます。廊下にフォームがあります(お寺のグループ・ナンバーなどがが必要です) それに記入されお店にもって行かれるだけで毎月別院にパーテルより買われる何パーセントかがお寺に送金されます、個人には一切負担がありません、特別に払うこともありません。皆様のご支援をお願いします。

今年のボーディー・デイ (成道会) のお祝いは12月2日です。サンガ・ポットラックが11時45分よりあります。何か一品ジムまでお持ち下さい。料理を持ってこれない方は寄付でも結構です。



お餅、お重ねセール

日曜日に玄関にてチケットを販売中。事務所でも買えます。もちは12月29日に作ります、ピック・アップは29日1時-5時、30日9時半-1時。チケットのない方は買えないかも知れません。廊下にお重ねのサイン・アップの用紙があります(サインアップしないと買えません)。

餅(1ダース)4ドル、お重ね5ドル。

別院春のバザーについて

来年のバザーについて色々な方々や別院の理事会と会議を重ねてきました。いかにしてもっと効果的な結果となるかを話し合い、試しとしてバザー形式よりディナー・スタイルのファンドレイズになる予定です。日にちも日曜日から土曜日の夕方になります。

別院のお正月パーティーは1月6日12時—3時です。チケットが玄関で売り出されます、また事務所でも買えます。今年はレストランで作られます。大人の弁当15ドル、(80歳以上の維持会会員は無料ですが事務所にレジスターすること) 子供弁当は5ドルです。ダーマ・スクール生徒で5歳以下は無料ですがチケットが要ります。

第66回西北部仏教徒大会・白河仏教会主催

2013年2月15-17日 ダブルツリー・スイーツ・ヒルトン、サウスセンター

ゲストスピーカー 藤本デービッド師 プナ本願寺、ハワイ、赤星けんじ師 サン・ホゼ別院
締め切り2013年1月6日(各団体には数日前に申し込む必要があります)

参加費 大人90ドル、青少年(7年生—大学)70ドル、子供(1年—6年生)55ドル

ホテルは各個人で予約: シングル119ドル、ダブル119ドル

詳細は各団体代表か別院事務所まで問い合わせして下さい。

婦人会便り

会長のメッセージ

馬場ジャネット

新年を迎えるに当たって: 去りゆく年を振り返ってみますと、2012年は飛ぶように早く過ぎ去ったように感じますが、2012年度の活動リポートを見ますと、私達会員は一同団結して沢山の目標を達成いたしました。

総会/慰労会: 去る11月18日に、この2012年度を終える為、そして会員の皆様の絶え間ない興味とご奉仕に感謝する機会として例年の総会が持たれました。

総会后、別院階下のダイニングルームに於いて、2012年度の理事並びに名誉理事を招待して慰労会が持たれました。この二つの行事は今年度を終了し、来年度を迎える良い機会と思います。

不断の変化: 私達の団体に変化が齎されました。今年は理事の数を60名から48名(2013年度以降)に変え、6名の新会員が加入され、そして悲しい事に長年の会員6名を失いました。別院仏教部と婦人会の共同主催で初の女性対象のセミナーを持ちました。2013年度を迎えるに当たり、私達団体が成長する為に変化を待望します。

絶え間ない学び: は活動部の目標でした。今年度はクラスが10回持たれました: 清水ダーリーンに依るカード作製、堀川のりぎくに依る炊き込みご飯の作り方、そして清水チョーに依るメデケアの最新情報最新のクラス。

西北部の仏教徒大会には20名の婦人会会員が参加し、そして会員22名がサンノゼでの米国仏婦大会に出席しました。会員の方達は特招講師の基調法話を聞き、宗教理解と知識を得る為に沢山のworkshopsに出席しました。

私達団体の会員方々の元気さに驚かされます。ここに皆様の新年の健康と幸福を念じ申し上げます。

合掌 馬場ジャネット



婦人会寄附：英語欄を参照下さい。

12月行事予定

2日(日) 成道会
9日(日) 婦人会台所清掃/別院清掃(午前11時)
16日(日) 別院総会(午前11時)
1月6日(日) 別院及び各団体役員就任式(午後12時)

通信書記(日) 新保エツ提出



Cardmaking class taught by Darlene Shimizu.
First row: Toshiko, Darlene, Setsu, & Mary.
Second row: Sue, Rikuko, Tomi, Mae, & Judith.



Ukulele Group performing at SBBWA's Irokai luncheon.
Left to right: Mas, Ann, Al, Sayeko, Mary, Tomi, Junko, & Gail.



Medicare class taught by Cho Shimizu.
Cho, Irene, Darlene, Mae, Judith & Janet.

成道会(じょうどうえ)(ボーディーデー)

12月8日は、人間の幸福について悩み続けられたお釈迦さまが35歳のこの日、菩提樹の下でついに「お悟り」を開かれ仏陀となりました。この尊い成道の日を記念しての法要を「成道会」といいます。各寺院では「おさとり」を讃える法要や、行事がおこなわれます。

なに不自由のない生活を送っておられたお釈迦さまが、人の世が老病死の苦に満ちていることに気づき、そうした苦から逃れる道を求めて出家されたのが29歳です。人間として生まれ、人間の幸福について悩み続けられたお釈迦さまは、肉体を痛めつける苦行をすることで苦からの脱出の道を求めましたが、やがて、苦行では苦の問題を解決することはできないと判断し、それを中止しました。そして、やつれた体を村娘の供養した粥でいやしたお釈迦さまは、大きな菩提樹の下で瞑想して、ついに悟りを開かれ、仏陀となりました。35歳のときでした。この尊い日を記念して法要を営みます。